

1. 動機

プロジェクションマッピングの制作を行おうと思ったきっかけは、去年の課題研究の発表会時に先輩方の作品を見て、私も自分だけの力で作品を完成させたいと思い、プロジェクションマッピングにしました。

2. 使用した機器, ソフトウェア, 楽曲

- (1) プロジェクター
- (2) 3Dプリンター
- (3) Autodesk Inventor Professional 2019
- (4) UP!
- (5) Adobe After Effects 2019
- (6) 『PUPA』 -モリモリあつし

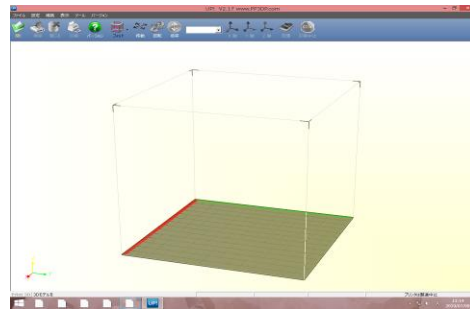
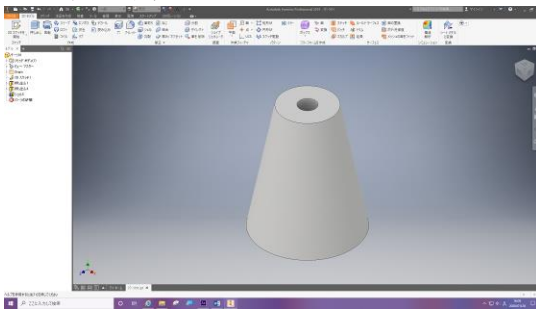
3. 製作内容

(1) 投影物の作成

Inventor で投影物を作成し、『stl ファイル』に書き出しを行う。

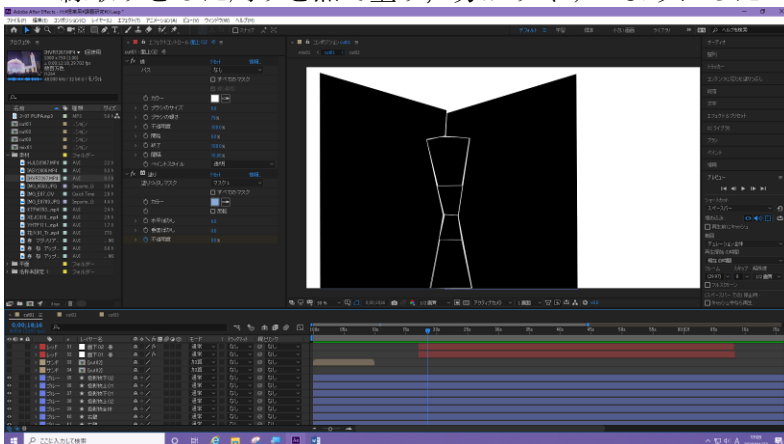
Inventor で書き出した投影物を UP に表示させて印刷する。

印刷終了後、プラットフォーム（出力している台座）はとても熱くなっているので軍手を付けて火傷に気を付けながら金属ベラを使用し、プラットフォームから印刷物を取り外す。



(2) マスクの作成

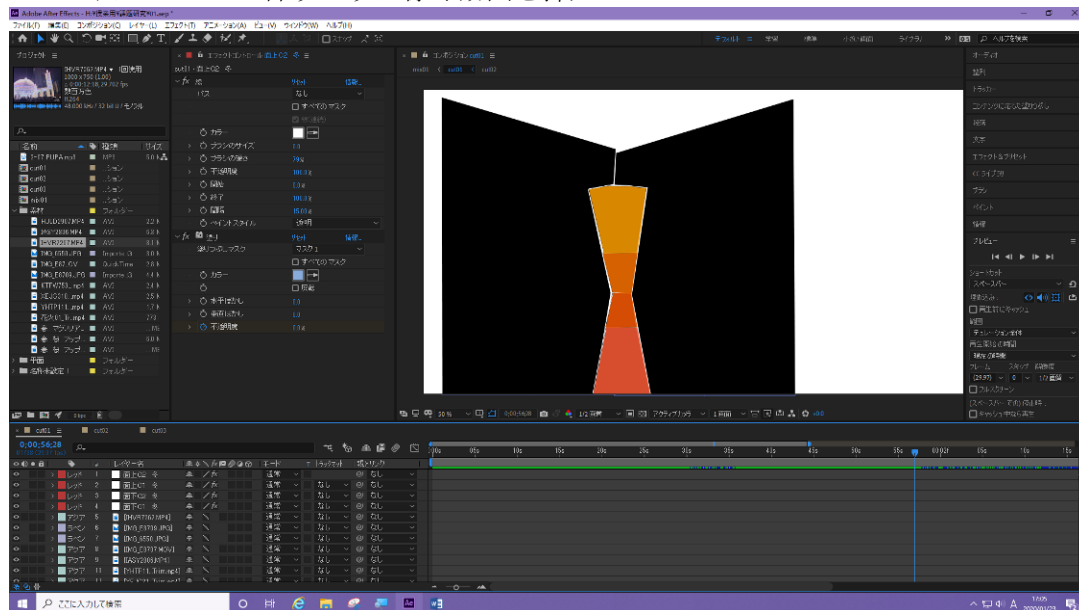
プロジェクターから投影された画面をもとにしながら、投影物に沿って線で縁取りを行う。投影物とずれていないかを確認するために縁取りをした周りを黒で塗り、分かりやすいようにした。



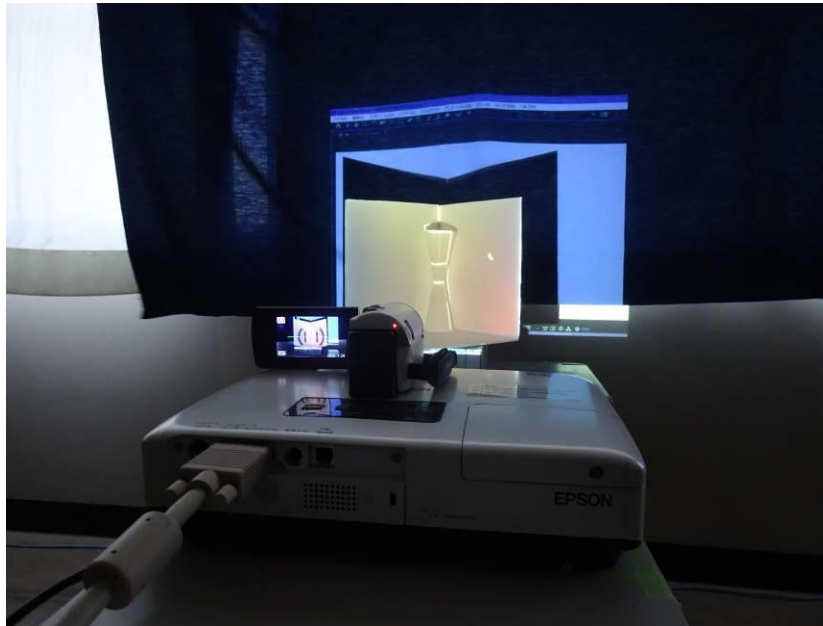
(3) 動画の制作

After effects を使用して作成する。

曲のテンポに合うように線や動画を挿入した。



(4) 映像を投影物に映して撮影を行う。



4. 参考文献

プロジェクション・マッピングの教科書 (田中健司: 著)

5. 感想

私は、他の二班とは違い、一人で課題研究に取り組みました。

分からない事などがあると、他の人に聞けないので自分で調べるなどして進めていきました。投影物の制作に半年以上かかったり、動画制作に取り掛かるまでに時間がかかったりするなどトラブルもたくさんあり、また挫けそうになることもありましたが最終的には作品を完成する事が出来ました。

この一年間、課題研究をするにあたって、沢山の知識とスキルを手に入れることができて良かったです。